

平成 2 1 年 2 月能代市議会臨時会

市長説明要旨

本日は、平成21年2月能代市議会臨時会を招集いたしましたところ、議員の皆様には何かとお忙しい中、ご出席いただき、誠にありがとうございます。

提出議案の説明に先立ち、ご報告を申し上げます。

アメリカの金融危機に端を発した急速な景気の後退は、雇用情勢にも深刻な影響を与えております。本市内においても、工場の閉鎖や企業の倒産など厳しい状況となっております。

本市では雇用環境の悪化に対応するため、昨年12月、庁内連絡会議を設置し、相談窓口の設置や情報の収集に努めてまいりましたが、今後もなお一層厳しい情勢になることが見込まれることから、今月3日、「能代市企業支援・雇用緊急対策本部」を設置し、雇用維持のための企業支援、国の交付金事業を活用した緊急雇用創出などに取り組むこととしております。今後も情報を収集しながら、市としてできる限りの対応をしてまいりたいと考えております。

本臨時会は、国において2兆円の定額給付金を盛り込んだ総額4兆7,858億円の平成20年度第2次補正予算が1月27日に成立したことに伴い、緊急に事業着手が必要な定額給付金給付事業や子育て応援特別手当支給事業、地域活性化・生活対策臨時交付金事業及び中小企業緊急雇用安定助成金事業等に係る補正予算について審議をお願いするものであります。

定額給付金給付事業及び子育て応援特別手当支給事業は、21年2月1日を基準日とした住民基本台帳及び外国人登録原票を基に、それぞれ世帯主に対して給付しようとするものであります。景気後退下の厳しい状況にあることから、可能な限り早急に給付したいと考えております。また、能代商工会議所及び二ツ井町商工会において、プレミアム付き商品券の発行が計画されておりますので、これに対する助成を検討してまいります。

地域活性化・生活対策臨時交付金は、地方公共団体が地域活性化等に資するきめ細かなインフラ整備などを進めることを目的としたものであり、本市には3億4,661万2千円が交付される見込みとなっております。

その対象事業として、国では地方再生戦略で28項目、生活対策で9項目の事業メニューを設定していることから、市としては、総合計画実施計画の中から、21年度以降に予定している主要事業等を中心に、交付対象となる15事業について、前倒しで実施したいと考えております。

それでは、提出議案の議案第1号平成20年度能代市一般会計補正予算案の概要についてご説明いたします。

まず、歳入の主なものとしては、定額給付金給付事業費補助金、子育て応援特別手当支給事業費交付金、地域活性化・生活対策臨時交付金の追加等であります。

次に、歳出の主なものについてご説明いたします。

総務費においては、定額給付金給付事業費9億7,248万4千円、戸籍電算化システム事業費2億131万7千円、グループウェア更新事業費2,152万5千円等を計上いたしております。

民生費においては、子育て応援特別手当支給事業費2,275万2千円等を計上いたしております。

商工費においては、二ツ井中心商店街路側帯カラー化事業費890万円等を計上いたしております。

土木費においては、下悪土川護岸補修事業費1,988万円等を計上いたしております。

教育費においては、二ツ井公民館設備改修事業費3,133万円、文化会館設備改修事業費1,688万5千円、図書館システム更新事業費1,659万円等を計上いたしております。

以上、一般会計補正予算案の概要を申し上げましたが、補正額は14億1,460万1千円となり、これを既定予算に加えますと、一般会計の総額は258億683万3千円となります。

以上、よろしくご審議の上、適切な決定を賜りますようお願い申し上げます。